

令和7年2月25日

保護者 各位

川崎市立南加瀬小学校

校長 渡部 陽子

令和7年度以降の自然教室の実施場所について

日頃から本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、川崎市では、これまで、自然教室を八ヶ岳少年自然の家を利用して実施してまいりました。しかしながら、当該施設の老朽化や敷地の一部が土砂災害特別警戒区域等に指定されていること、バスの運転手不足等の課題があることから、教育委員会事務局において、持続可能な自然教室の実施に向けた取組を検討してまいりました。その結果として、今後、当該施設の整備については、安全性やコスト比較の観点から一旦検討を凍結し、八ヶ岳少年自然の家以外の施設を活用した自然教室を前提に検討を進め、3年間を目途に、持続可能な実施手法の確立に向けた検証に取り組むこととなりました。

つきましては、本校では、令和7年度の自然教室は災害時対応に配慮しながら、例年通り「八ヶ岳少年自然の家」で実施します。令和8年度以降の自然教室につきましては、教育委員会事務局の検討・検証を参考に、下見や計画を進めてまいります。本校からのアクセスや学習のねらいを考慮し、現地の自然を活かした自然教室ができるよう努めてまいりますので、保護者の皆様におかれましては、何卒御理解くださいますよう、お願いいたします。

なお、教育委員会事務局における検討状況につきましては、以下のURLから詳細を御確認いただけます。

【参考】教育委員会事務局における検討状況

令和7年1月31日 川崎市議会文教委員会において報告

「今後の自然教室の方向性等(中間報告)について」

<https://www.city.kawasaki.jp/980/page/0000164975.html>

